

1. 平成21年度第2四半期決算の概要

○ 連結決算

1. 連結経営成績（累計）

	売上高		営業損益		経常損益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	257,541	(△ 6.4)	17,834	(—)	10,547	(—)
21年3月期第2四半期	275,102	(4.6)	△ 23,310	(—)	△ 29,905	(—)

	四半期純損益		1株当たり四半期純損益	
	百万円	%	円 銭	
22年3月期第2四半期	3,560	(—)	16.91	
21年3月期第2四半期	△ 17,991	(—)	△ 85.40	

(注1) パーセント表示は、対前年同四半期増減率

(注2) 営業損益、経常損益、四半期純損益、1株当たり四半期純損益欄の△は、損失を示しております。

2. 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
22年3月期第2四半期	1,623,509		418,040		25.1		1,937.62	
21年3月期	1,635,023		419,983		25.1		1,947.01	

○ 単独決算

1. 経営成績（累計）

	売上高		営業損益		経常損益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	248,355	(△ 6.7)	16,173	(—)	9,034	(—)
21年3月期第2四半期	266,181	(5.0)	△ 24,081	(—)	△ 30,588	(—)

	四半期純損益		1株当たり四半期純損益	
	百万円	%	円 銭	
22年3月期第2四半期	2,876	(—)	13.66	
21年3月期第2四半期	△ 18,052	(—)	△ 85.69	

(注1) パーセント表示は、対前年同四半期増減率

(注2) 営業損益、経常損益、四半期純損益、1株当たり四半期純損益欄の△は、損失を示しております。

2. 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
22年3月期第2四半期	1,552,836		378,249		24.4		1,796.05	
21年3月期	1,564,763		380,951		24.3		1,808.84	

2. 連結決算の概要

当第2四半期連結累計期間の収支につきましては、収入面では、販売電力量の減少や、燃料価格の低下による燃料費調整制度の影響などにより、営業収益（売上高）は、前年同期に比べ175億円（△6.4%）減少の2,575億円となり、これに営業外収益を加えた経常収益は、179億円（△6.5%）減少の2,586億円となりました。

支出面では、泊発電所3号機の試運転による減価償却費の増加などはありませんでしたが、原子力発電量の増加に加え、燃料価格の低下や豊水による燃料費の減少のほか、経営全般にわたる効率化に努めた結果、営業費用は、前年同期に比べ587億円（△19.7%）減少の2,397億円となり、これに営業外費用を加えた経常費用は、583億円（△19.0%）減少の2,481億円となりました。

以上により、営業損益は、前年同期の損失から411億円好転し178億円、経常損益は、404億円好転し105億円、四半期純損益は、215億円好転し35億円の利益となりました。

連結収支比較表

(単位：百万円)

		当第2四半期 連結累計期間 (A)	前第2四半期 連結累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	前年同期比% (A)/(B)	前 期
経常収益	営業収益（売上高）	257,541	275,102	△17,560	93.6	594,559
	電気事業営業収益	247,604	265,458	△17,854	93.3	572,152
	その他事業営業収益	9,937	9,643	294	103.0	22,407
	営業外収益	1,110	1,454	△ 343	76.3	2,776
	合 計	258,652	276,556	△17,904	93.5	597,336
経常費用	営業費用	239,707	298,412	△58,705	80.3	611,715
	電気事業営業費用	230,955	290,185	△59,230	79.6	592,054
	その他事業営業費用	8,751	8,226	524	106.4	19,661
	営業外費用	8,397	8,049	348	104.3	17,103
	合 計	248,104	306,462	△58,357	81.0	628,819
[営業損益]		[17,834]	[△23,310]	[41,144]	[—]	[△17,155]
経常損益		10,547	△29,905	40,452	—	△31,482
渴水準備金引当又は取崩し		3,362	△ 3,299	6,662	—	△ 5,053
特別損失		—	—	—	—	4,737
税金等調整前四半期(当期)純損益		7,185	△26,605	33,790	—	△31,165
法人税等		3,456	△ 8,883	12,340	—	△ 7,869
少数株主損益		168	269	△ 101	62.5	810
四半期(当期)純損益		3,560	△17,991	21,551	—	△24,106

(注)営業損益、経常損益、税金等調整前四半期(当期)純損益、少数株主損益、四半期(当期)純損益欄の△は、損失を示しております。

連結対象会社

連結子会社	持分法適用会社
北海電気工事(株) 北電興業(株) 北海道パワーエンジニアリング(株) 苫東コールセンター(株) ほくでんエコエナジー(株)※ 北海道総合通信網(株)	北海道計器工業(株)、北電総合設計(株)、 ほくでんサービス(株)、ほくでん情報テクノロジー(株)、 (株)エナジーフロンティア、(株)ほくでんスポーツフィールドズ、 北海道フードフロンティア(株)、(株)ほくでんアソシエ

※ ほくでんエコエナジー(株)は、北海水力発電(株)が平成21年4月3日付で商号を変更したものです。

3. 単独決算の概要

1. 需 要

- ・ 電灯および電力は、オール電化住宅の普及に加え、春先の気温が前年に比べ低く推移したことによる暖房需要の増加などにより、1.7%の増加となりました。
- ・ 特定規模需要は、鉄鋼業、紙・パルプ、機械工業などでの生産調整の影響などにより、7.1%の減少となりました。
- ・ この結果、販売電力量合計では、3.6%の減少となりました。

販売電力量

(単位：百万kWh)

		当第2四半期 累計期間 (A)	前第2四半期 累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	前年同期比% (A)/(B)	前 期
特定規 模需要 以外	電 灯	5,330	5,244	86	101.6	11,639
	電 力	835	820	15	101.8	2,258
	電 灯 電 力 計	6,165	6,064	101	101.7	13,897
特 定 規 模 需 要		8,482	9,135	△ 653	92.9	17,942
合 計		14,647	15,199	△ 552	96.4	31,839

2. 供 給

- ・ 当第2四半期累計期間の出水率は111.6%と平年を上回り、また、供給設備の適切な運用をはかったことから、安定した供給を維持することができました。
- なお、泊発電所3号機については、12月の営業運転開始に向け、試運転を着実にっております。

供給電力量

(単位：百万kWh)

		当第2四半期 累計期間 (A)	前第2四半期 累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	前年同期比% (A)/(B)	前 期
自 社	(出 水 率 %)	(111.6)	(79.9)	(31.7)		(80.5)
	水 力	2,436	1,750	686	139.2	2,811
	火 力	6,708	10,323	△ 3,615	65.0	21,176
	(設 備 利 用 率 %)	(71.3)	(51.9)	(19.4)		(66.2)
	原 子 力	5,139	2,639	2,500	194.7	6,777
計		14,283	14,712	△ 429	97.1	30,764
他 社 受 電		2,063	2,230	△ 167	92.5	5,100
融 通		△ 90	2	△ 92	—	△ 3
揚 水 用		△ 63	△ 61	△ 2	104.3	△ 71
合 計		16,193	16,883	△ 690	95.9	35,790

(注) 原子力設備利用率は、試運転分を除いております。

3. 収 支

(1) 収 益

- ・ 電灯・電力収入は、販売電力量の減少や、燃料価格の低下による燃料費調整制度の影響などにより、187億円(△7.1%)の減少となり、これにその他収益を加えた経常収益合計では、180億円(△6.8%)減少し、2,493億円となりました。

(2) 費 用

- ・ 人件費は、退職給付会計に係る費用の増加などにより、16億円(6.0%)の増加となりました。
- ・ 燃料費・購入電力料は、原子力発電量の増加に加え、燃料価格の低下や豊水などにより、702億円(△56.3%)の減少となりました。
- ・ 修繕費は、原子力発電所の定期検査基数の減少や、前年の泊発電所2号機蒸気発生器1次冷却材入口管台溶接部補修の反動などにより、111億円(△26.5%)の減少となりました。
- ・ 減価償却費は、泊発電所3号機の試運転償却費の影響などにより、213億円(67.8%)の増加となりました。
- ・ 支払利息は、有利子負債の増加などにより、8億円(13.0%)の増加となりました。
- ・ その他費用は、ほぼ前年同期並みとなりました。
- ・ この結果、経常費用合計では、577億円(△19.4%)減少し、2,403億円となりました。

(3) 損 益

- ・ 以上により、経常損益は、前年同期の損失から396億円好転し90億円、四半期純損益は、209億円好転し28億円の利益となりました。
- ・ なお、中間配当につきましては、本日開催の取締役会において1株につき25円と決定いたしました。

収支比較表

(単位：百万円)

		当第2四半期 累計期間 (A)	前第2四半期 累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	前年同期比% (A)/(B)	前 期
経 常 収 益	電 灯 料	113,909	117,227	△ 3,318	97.2	259,065
	電 力 料	130,559	146,029	△ 15,469	89.4	307,912
	(小 計)	(244,469)	(263,257)	(△ 18,787)	(92.9)	(566,977)
	そ の 他 収 益	4,909	4,201	708	116.9	8,587
	[売 上 高] 合 計	[248,355] 249,379	[266,181] 267,458	[△ 17,825] △ 18,079	[93.3] 93.2	[573,473] 575,565
経 常 費 用	人 件 費	28,402	26,799	1,603	106.0	53,734
	燃 料 費 ・ 購 入 電 力 料	54,566	124,847	△ 70,280	43.7	238,581
	修 繕 費	31,066	42,243	△ 11,177	73.5	99,430
	減 価 償 却 費	52,842	31,490	21,352	167.8	68,318
	支 払 利 息	7,618	6,744	873	113.0	14,173
	そ の 他 費 用	65,849	65,921	△ 72	99.9	137,877
	合 計	240,345	298,046	△ 57,701	80.6	612,116
[営 業 損 益]		[16,173]	[△ 24,081]	[40,254]	[-]	[△ 22,354]
経 常 損 益		9,034	△ 30,588	39,622	-	△ 36,550
渴水準備金引当又は取崩し		3,362	△ 3,299	6,662	-	△ 5,053
特 別 損 失		-	-	-	-	4,701
税引前四半期(当期)純損益		5,671	△ 27,288	32,960	-	△ 36,198
法 人 税 等		2,795	△ 9,236	12,032	-	△ 10,000
四 半 期 (当 期) 純 損 益		2,876	△ 18,052	20,928	-	△ 26,197

(注) 営業損益、経常損益、税引前四半期(当期)純損益、四半期(当期)純損益欄の△は、損失を示しております。

4. 業績の見通し

当期の業績につきましては、至近の収支動向を踏まえ、平成21年7月30日に公表した業績予想を修正いたしました。

平成22年3月期の連結業績予想につきましては、販売電力量は、景気の影響による特定規模需要でのレジャー関連や商業施設などの需要減などにより、前回業績予想に比べ5億kWh程度減少し、314億kWh程度となる見通しであります。

このような状況の中で、売上高は、販売電力量の減少などにより、前回業績予想に比べ30億円程度減少する見通しであります。

営業利益および経常利益は、売上高の減少はありますが、豊水などによる燃料費の減少などから、前回業績予想に比べ、それぞれ20億円程度増加する見通しであります。一方、当期純利益は、豊水による渴水準備金の引当額の増加などにより、前回業績予想に比べ10億円程度減少する見通しであります。

この結果、当期の売上高は5,440億円程度、営業利益は280億円程度、経常利益は140億円程度、当期純利益は50億円程度となる見込みであります。

○ 連結業績見通し

22年3月期連結業績予想

(単位：百万円)

	通	期	
		対前回増減	対前期増減
売上高	5,440,000	△ 3,000	△ 50,000
営業利益	280,000	2,000	45,000
経常利益	140,000	2,000	45,000
当期純利益	50,000	△ 1,000	29,000
販売電力量	314億kWh程度	△ 5億kWh程度	△ 4億kWh程度

○ 単独業績見通し

22年3月期単独業績予想

(単位：百万円)

	通	期	
		対前回増減	対前期増減
売上高	5,230,000	△ 3,000	△ 50,000
営業利益	230,000	2,000	45,000
経常利益	90,000	2,000	45,000
当期純利益	30,000	△ 1,000	29,000

※ 対前回増減は、平成21年7月30日に公表いたしました業績予想との差を記載しております。

※ 通期の為替レートは93円/米ドル（10月以降90円/米ドル）程度、原油CIF価格は66米ドル/b1（10月以降70米ドル/b1）程度として想定しております。